

農業サポーター受入農家訪問

令和2年8月5日

江南区天野：近藤さん

近藤さんはイチゴをメインに生産されている農家さんですが、その他にも米作りやしめ縄づくりも行っています。この日はしめ縄づくりのための、稲わらすぐり作業をされるとのことでお邪魔してきました。

秋にかけて田んぼの稲に穂が付き始めますが、しめ縄作りでは穂ができる前の、7月頃に刈り取りして乾燥させたわらを使用します。稲わらすぐりはしめ縄作り前の準備作業で、乾燥させたわらを選別してきれいな状態に整える作業です。束ねて千歯扱せんばごきにかけると、茎以外の部分が落ちてきれいに整います。



この時期には作業小屋いっぱい稲わらがあり、良い香り（笹団子のような香りです！）が広がっていますよ。倉庫には、作業後のわらがずらっと並んでいます！

しめ縄作りは手作業で工程も多く人手がかかる、と近藤さん。大きいものは、2人がかりでないとできない作業もあるそうです。しめ縄づくりは9～12月頃まで、体力に自信のない方や手先を使った細かい作業が好きな方にぜひオススメだそうです！



小さいものはこの機械を使います！

近藤さんのところでは、コロナの影響で農業サポーターの受入を一時中断していましたが、状況を見ながら少しずつ再開しているそうです。

ご興味ある方は、ぜひ近藤さんのところで活動してみてください♪



わら飾りがたくさんありました🍵